

より安全な世界へ向けて

このニュースレターは、デュポンが創業以来200年にわたり蓄積した安全ノウハウの一部を紹介するものです。「より安全な世界へ向けて」企業経営のご参考にして頂ければ幸いです。

安全、それは最初に考えるもの

社会的責任に強い関心を持つ企業経営者の多くは、率先してコンプライアンスに取り組む企業経営の適正さと法令遵守に努めていることは周知の事実です。また、多くの企業が企業行動憲章や行動原則を制定し社会的責任を果たす姿勢の中で職場及び地域社会の安全の確保を公約しています。

しかしながら、職場には潜在的リスクがあり、法律遵守だけで職場の安全が確保される訳ではないことも事実です。多くの企業が取り組んでいるOHSAS18001や厚生労働省の安全衛生マネジメントシステムの仕組み作りは、安全確保の出発点と言えますがそれに対応する全従業員の意識改革と実践が伴わない場合には効果が十分とはいえません。経営者の職務は、「まず、最初に考えるものとして安全があり」、それに伴う行動を全組織構成員に自然体で取らせ、それを定着させることであるとデュポンは考えています。安全を最初に考えるかどうかは、経営者の価値観と方針選択次第であるといえます。

安全は創業当初からデュポンの企業文化の一部であり、社員の個々人が自分の安全に責任を持つだけでなく、同僚の安全についても注意を払っておりました。この考え方は「全てのケガは防ぐことができる」との信念と共に会社の基本原則となっています。その考え方に基づきデュポンは、人間行動に焦点を当てた安全文化の定着、トップ経営陣の「感じてもらえる指導力 (Felt Leadership)」の発揮、手法の確立、個々人の高い職務規律の定着に努めていると共

に、外部に対し安全に関するさまざまなサービスを提供しています。

安全管理における4つの基本

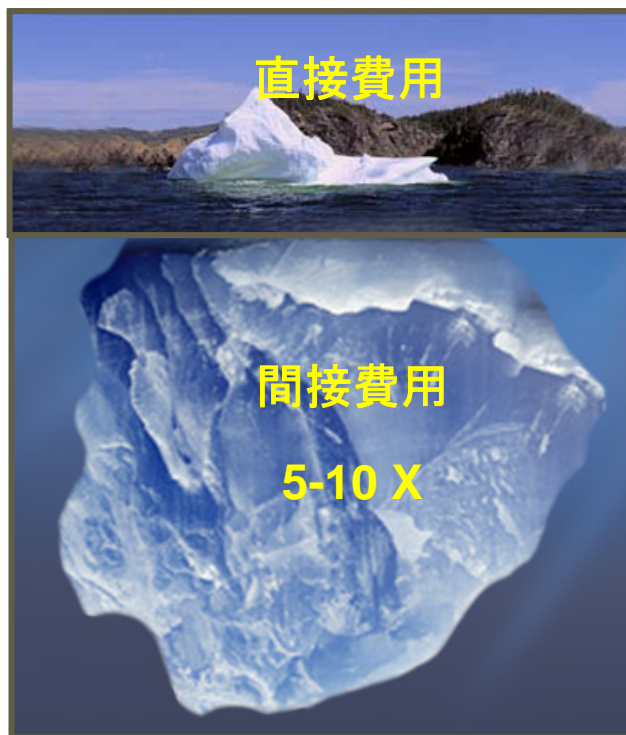
デュポンは安全を組織の行動文化に定着させるため多くの安全プログラムを開発してきました。その実践を通して不安全行動を黙認しない職務規律の維持・向上が、ひいては生産性や品質の向上、コスト削減に繋がる優良操業への道であるとの信念を持って取り組んでいます。その根底には他の業務分野にも共通する4つの基本の考え方があります。

(1) **経営幹部の意欲と関与**：トップ経営陣が企業方針と実践基準を目に見える行動で示すこと。それにより組織は、優良な安全成績の達成とその維持は価値があることを理解することができる。(2) **ライン管理者の結果責任と説明責任**：安全方針と組織目標の実行は、生産、コスト、納期、品質と同様にライン管理者の責任であり、同等の優先度でなければならぬ。(3) **焦点は人間**：安全の取り組みが効果的であるためには、方針に始まり原則、基準、実践、手順、実行、そしてモニターする一連の流れが欠落なく繋がっており、その仕組みの中で関係者の行動と行為に焦点が当てられなければならない。安全管理は、法令遵守、機械プロセス、物理的状態以上に人間とその行動に注目すべきものである。(4) **監査・観察と継続的改善**：デュポンの監査・観察は、安全行動や状態が期待値に合致しているかを確認する手段であり、管理者の自己監査、従業員の監査、そして安全観察技術が含まれています。このアプローチにより不安全行動、不安全状態の特定が容易となります。

リスクのある職場

設備の本質安全化投資により安全な職場を目指した

リスクのある職場： 費用の多くは目に見えません



直接費用(氷山の一角)

- 医療費
- 労災保険料
- 事故届出管理費用

目に見えない費用(水面下)

- 設備損傷・資材損失
- 製品損失・品質不良
- 生産中断・収率低下
- 時間外労働
- 訴訟
- 顧客との関係/企業イメージの悪化
- 経営陣・管理者の手間と時間
- モラル低下・労使関係の悪化
- 投資家からの信頼低下

としても、事故、ケガの潜在的なリスクが職場からなくなるわけではありません。仮にリスク・ゼロを目標とするなら、事業の中止が最も有効です。トップ経営陣の責務は、職場のリスクをゼロにすることではなく効果的にリスクをコントロールする方針と対策を決定し、その計画と具体的プログラムを策定し、ライン組織を通して実行させ、その状況をモニターすることにあります。

デュポンは、ほとんどの設備災害、人身災害は不安全行動によって引き起こされ、不安全状態や機械だけが原因になることはない、と考えています。ケガの原因の96%は不安全行動によるもので、不安全状態によるものが残り4%です。リスク・コントロールによる職場の安全確保には、96%の不安全行動を黙認する職場慣行の是正が必要であり、特に知識も経験もある熟練者による標準作業手順を外れたショートカット、以前も大丈夫だったので今回も大丈夫、のような安全軽視に基づく不安全行動の一扫は、トップダウンによる取り組みが必要であると考えてい

ます。ワールドクラスの職場安全の達成には、不安全行動の掃除のための投資が有効であるとデュポンは考えています。さらには経営トップを含むライン管理者による不安全行動を黙認しない高い意識と自ら率先垂範する行動が必要です。職場の安全は担当部署任せで確保できるものではなく、経営トップを含むライン管理者の役割は、「全てのケガは防ぐことができる」の信念のもとに Felt Leadership の発揮にあると言っても過言ではありません。

デュポンの安全サービス全般もしくは、安全文化構築、プロセス安全・リスク管理、緊急時対応、STOP™ (不安全行動是正) プログラム等についてご質問、ご要望がございましたら、お問い合わせ下さい。

デュポン (株) セーフティリソース
(お問い合わせ先：村上、飯浜、吉田、水野、大西)
TEL:03-5521-8509、 FAX:03-5521-2344